

中央大学FLP 松野ゼミが、CATV 4局で、 番組「多摩探検隊」をレギュラーで制作・放送します。

中央大学FLP ジャーナリズムプログラム（松野良一ゼミ）は5月2日より、「多摩テレビ」（本社・多摩市）7月28日より、「日野テレビ」（本社・日野市）8月23日より、「多摩ケーブルネットワーク」（本社・福生市）9月・日より、「八王子テレメディア」（本社・八王子市）で、番組「多摩探検隊」をレギュラーで制作・放送することになりましたので、お知らせいたします。

大学のゼミ活動で、テレビ番組を、年間を通してレギュラーで、企画から取材、スタジオ撮り、パッケージ化まで行うのは、全国で初めてです。「多摩探検隊」は、10分間の地域密着型情報番組で、多摩テレビでは毎日12時からと17時からの2回放送、日野テレビでは月末水曜日から一週間、8時から12時から、19時からと22時半からの4回放送、多摩ケーブルネットワークでは月の第4週目か5週目に12時15分、19時50分、22時20分と23時20分の4回（土日は異なる）放送、八王子テレメディアでは月曜日から金曜日の9時10分から1回放送です。企画、取材、撮影、編集、パッケージ化のすべてを学生が行い、最初は月1本のペースで始めます。内容は、東京キー局が扱わない多摩地域に埋もれている話題、人物、物語を掘り起こし、それにまつわる感動を伝えていこうというものです。また「ジャパンフィルムネット」（別プレスリリース参照）と連携し、北海道、東京、京都、沖縄の各地域の話題を取り上げたり、コラボレーションで番組制作を行う予定です。FLP というのは、「ファカルティ・リンケージ・プログラム」の意味で、通常の学部で行われるゼミとは異なり、全学部から希望する学生を募り選抜試験を経て構成されます。FLP は、2003年度から始まりました。今回、「多摩テレビ」でレギュラー番組を制作するFLP 松野ゼミは、文学部、法学部、経済学部、商学部、総合政策学部、理工学部の6学部の学生で構成されています。

今まで放送された放送の内容は以下のとおりです。

第1回分

①「ありがとう～あなたに伝えたい感謝の気持ち～」・・・人に感謝したいけど恥ずかしくて言えない「ありがとう」の言葉を、テレビカメラの前で伝えてもらおうという企画。戦争やテロ、児童虐待など、暗い話題が多い昨今、何気ない感謝の言葉を発することで、平和で幸せな気分を視聴者に届けたいという気持ちから企画しました。

②「ハローキティに会える街多摩センター」・・・多摩センターにはサンリオピューロランドがあります。多摩市は、サンリオと提携して地域活性化に乗り出しています。キティちゃんなどのキャラクターとともに、多摩で繰り広げられるある産官協同イベントにスポットを当てました。

第2回分

①『ありがとう、ごめんなさい』・・・市民の皆さんに日頃言えない心の中の気持ちをカメラの前で話していただきました。前回の『ありがとう』に加え、今回は『ごめんなさい』とも言っていただき、微笑ましい作品になりました。テレビの前の視聴者に感動と温かい気持ちを感じていただくという目的で制作しました。

②みんなの朝市～昭島・田中町団地の朝顔～…昭島市田中町団地で毎週日曜日に行われる朝市取材しました。この朝市は、団地内のスーパーが閉店後、寂しくなった団地の風景に活気を取り戻そうと住民たちが行政・農家に働きかけ、実現したものです。朝市が行われるようになった経緯を紹介しながら、団地住民の表情、また朝市で店先に並ぶ新鮮な野菜を、存分に伝えていきます。

第3回分

①『ありがとう～あなたに伝えたい感謝の気持ち～』…いまや多摩探検隊の名物企画となりつつある「ありがとう」。過去2回は、多摩センターなど、様々な場所でインタビューを敢行したが、今回は、日野市にある多摩動物公園にスポットをあて、来園者や飼育係の方などに感謝の気持ちを言ってもらった。また、たくさんの動物たちも登場し、よりほのぼのとした映像に仕上がった。

②『青梅レトロ街道を行く～映画看板の街 青梅～』…青梅駅前の旧青梅街道・住江商店街を中心として、町のあちこちに掲げられている映画看板(ざっと30枚ほど)…。看板の題材となっている映画の多くは、戦前から昭和40年代といった古い時代のものであり、独特のレトロな雰囲気醸し出している。この青梅の新たな町おこしの試みを、看板絵師さんや地元の方々へのインタビューを通して紹介するドキュメンタリー。

第4回分

①『ありがとう～伝えたい感謝の気持ち～』…今回はスケッチブックを持っていき、ありがとうと伝えたい相手に、一言伝えたい言葉、フレーズを紙に書いてもらい、インタビューを行いました。普段何気なく使っている「ありがとう」という言葉の持つ力を伝えたいです。

②『がんばれ！ 2004 夏』…「ありがとう」の姉妹編ともいえるインタビュー企画です。暑い東京の夏、そんな中でがんばっている人たちへ「がんばれ！」とエールを送ってもらいました。

③『でんきを消して、スローな夜を』…八月十八、十九、二十の夏至の三日間、八時から十時まで電気を消して、ろうそくで過ごそうという呼びかけの下、2003年から始まったキャンドル・ナイトに焦点をあてる。「どんな団体が参加しているのか、その団体はどのような活動を当日行うのか。このイベントの規模の広がり、成果をふまえて、今後どんなメッセージを伝えたいのか。」発起人となった、代表の呼びかけ人へのインタビュー、呼びかけを受けて参加した団体へのインタビュー、そのイベントに遊びにきた人へのインタビューと今後の活動への抱負をベースに描く。

<お問い合わせ先>

中央大学総合政策学部助教授松野良一 (090-2229-3741) ▪ matsuno@fps.chuo-u.ac.jp

「多摩探検隊」制作担当第1回キャスター阿部公信 (法学部3年) (090-9034-3697)